

解析学概論 課題 解答例

2020.12.07

1 次の間に答えよ.

- (1) 高等学校における平面ベクトルの定義を述べよ.
- (2) 平面ベクトルの定義を同値関係を用いて述べよ.

(解) (1) 高校数学の教科書「数学B」(数研出版)では次のように定義されている.

有向線分は位置と、向きおよび大きさで定まる. その位置を問題にしないで、向きと大きさだけで定まる量をベクトルという.

(2) 平面上の線分があるとき、一方の端点 (x_1, x_2) を始点、もう一方の端点 (y_1, y_2) を終点と区別したものを有向線分という. 有向線分 (x_1, x_2, y_1, y_2) の全体を X と表し、 X 上の二項関係 $\overset{R}{\sim}$ を

$$(x_1, x_2, y_1, y_2) \overset{R}{\sim} (\tilde{x}_1, \tilde{x}_2, \tilde{y}_1, \tilde{y}_2) \iff y_1 - x_1 = \tilde{y}_1 - \tilde{x}_1 \text{ かつ } y_2 - x_2 = \tilde{y}_2 - \tilde{x}_2$$

により定める. (i) $y_1 - x_1 = y_1 - x_1$ かつ $y_2 - x_2 = y_2 - x_2$ より $(x_1, x_2, y_1, y_2) \overset{R}{\sim} (x_1, x_2, y_1, y_2)$ である. (ii) $(x_1, x_2, y_1, y_2) \overset{R}{\sim} (\tilde{x}_1, \tilde{x}_2, \tilde{y}_1, \tilde{y}_2)$ と仮定すると、 $y_1 - x_1 = \tilde{y}_1 - \tilde{x}_1$ かつ $y_2 - x_2 = \tilde{y}_2 - \tilde{x}_2$ が成り立つ. 左辺と右辺を入れ換えて、 $\tilde{y}_1 - \tilde{x}_1 = y_1 - x_1$ かつ $\tilde{y}_2 - \tilde{x}_2 = y_2 - x_2$ となり、定義より $(\tilde{x}_1, \tilde{x}_2, \tilde{y}_1, \tilde{y}_2) \overset{R}{\sim} (x_1, x_2, y_1, y_2)$ である. (iii) $(x_1, x_2, y_1, y_2) \overset{R}{\sim} (\tilde{x}_1, \tilde{x}_2, \tilde{y}_1, \tilde{y}_2)$ かつ $(\tilde{x}_1, \tilde{x}_2, \tilde{y}_1, \tilde{y}_2) \overset{R}{\sim} (\hat{x}_1, \hat{x}_2, \hat{y}_1, \hat{y}_2)$ と仮定すると、

$$y_1 - x_1 = \tilde{y}_1 - \tilde{x}_1, \quad y_2 - x_2 = \tilde{y}_2 - \tilde{x}_2, \quad \tilde{y}_1 - \tilde{x}_1 = \hat{y}_1 - \hat{x}_1, \quad \tilde{y}_2 - \tilde{x}_2 = \hat{y}_2 - \hat{x}_2$$

が成り立つ.

$$y_1 - x_1 = \tilde{y}_1 - \tilde{x}_1 = \hat{y}_1 - \hat{x}_1, \quad y_2 - x_2 = \tilde{y}_2 - \tilde{x}_2 = \hat{y}_2 - \hat{x}_2$$

より $(x_1, x_2, y_1, y_2) \overset{R}{\sim} (\hat{x}_1, \hat{x}_2, \hat{y}_1, \hat{y}_2)$ となる. 以上から、二項関係 $\overset{R}{\sim}$ は X における同値関係である. この関係により得られる同値類が平面ベクトルに対応する. ■